

## 「横浜市都市計画マスタープラン保土ヶ谷区プラン『保土ヶ谷区まちづくり計画』」 改定原案に対する市民意見募集結果について」

保土ヶ谷区では、「横浜市都市計画マスタープラン保土ヶ谷区プラン『保土ヶ谷区まちづくり計画』」の改定にあたり、平成30年7月に改定原案を公表し、市民意見募集を実施しました。市民の皆さまから貴重なご意見、ご提案等を頂き誠にありがとうございました。

このたび、その実施結果と、いただいたご意見等についての本市の考え方をまとめましたので、次のとおり公表します。

### 1 実施概要

意見募集期間	平成30年7月11日（水）から7月27日（金）まで
意見提出方法	郵送、FAX、電子メール、電子申請システム、持参
改定素案（全文）の公表場所	・ 保土ヶ谷区区政推進課 ・ 保土ヶ谷図書館 ・ 区内各地区センター ・ 市役所市民情報センター ・ 都市整備局地域まちづくり課 ・ 保土ヶ谷区ホームページ ( <a href="http://www.city.yokohama.lg.jp/hodogaya/plan/genan.html">http://www.city.yokohama.lg.jp/hodogaya/plan/genan.html</a> )
改定素案（全文）の配布場所	・ 保土ヶ谷区区政推進課

### 2 実施結果

提出者数	13名
提出方法	郵送（1名）、FAX（1名）、電子メール（1名）、その他（10名）
意見数	17件

### 3 提出されたご意見とご意見に対する本市の考え方

ご意見の分類と反映状況

分類	件数	番号 No.
(1) ご意見の趣旨が改定原案に（一部）含まれていると考えられるもの	5件	1～5
(2) 今後の参考とさせていただくもの	3件	6～8
(3) 関係機関と情報共有するもの	5件	9～13
(4) 計画にご賛同いただいたもの	2件	14～15
(5) その他	2件	16～17

## 分類別のご意見の概要と意見に対する考え方

### (1) ご意見の趣旨が改定原案に（一部）含まれていると考えられるもの

No.	頁	意見の概要	意見に対する考え方
1	3 24	相鉄沿線と、天王町駅～保土ヶ谷駅までの低地は人口は増えると考えますが、課題は郊外部の駅から遠いところである* *丘、〇〇台といった丘陵部であり、人口を維持する施策、多世代の居住への施策が具体的に欲しい。	丘陵部の施策については、P29 1土地利用の方針 において、丘陵部の土地利用の方針を記載しているほか、P42～P60 IV地域別のまちづくり において、それぞれの地域における丘陵部のまちづくりの方針を記載しているため、ご意見の趣旨は改定原案に含まれていると考えます。 なお、保土ヶ谷まちづくり計画は、区の将来を見据えた基本的な方針を定めたものであるため、実現に向けた具体策などはこの計画に基づいた事業実施計画などで推進していきます。
2	34	集中豪雨に対する対策について、近年は異常気象が多く、想定しているとされる 50mm対応では足りないのではと疑問に感じる。豪雨が連日のように続くと区内の調整池は機能しないのではないかと。	P34 3都市環境の方針 において、気候変動の影響への適応策について記載しており、ご意見の趣旨は改定原案に含まれているものと考えます。引き続き、関係機関と連携し、被害を最小化・回避する「適応策」についても推進してまいります。
3	36 53	保土ヶ谷宿の歴史を大事にしてほしい。特に、保土ヶ谷小学校跡地についてはまちあるき活動等の拠点とすれば活用方法が広がるのでは。	P36 4都市の魅力の方針 および、P47 IV地域別のまちづくり 地域2のまちづくり において、歴史資産の保全・活用について記載しており、ご意見の趣旨は改定原案に含まれていると考えます。また、保土ヶ谷小学校跡地の活用については、引き続き関係局と調整しながら進めてまいります。
4	54	保土ヶ谷駅について、東口商店街のアーケードは古くて危ない。東戸塚や戸塚の方が便利だと感じる。保土ヶ谷駅東口もきれいな商業施設があれば買い物に助かるし、散歩がてらウォーキングも出来る。 西口は天王町に通じ少しはきれいになったように感じるが、駅からバス停へ行く歩道橋が古くなっている。 整備されたきれいな駅前になることを期待する。	P38 5都市活力の方針 および、P47 IV地域別のまちづくり 地域2のまちづくり において、駅周辺の商店街のにぎわいについて記載しており、ご意見の趣旨は改定原案に含まれていると考えます。いただいたご意見は関係機関と情報共有させていただきます。

5	55	県道青砥上星川の改善については、地域としても重要な課題であると認識しているため、より一層、改善を進めてほしい。	地域別のまちづくりの方針のうち、P55～57 地域5のまちづくりにおいて、県道青砥上星川をはじめとする生活軸の危険箇所 <sup>1</sup> の改善について記載しており、ご意見の趣旨は改定原案に含まれていると考えます。引き続き、沿道の協力も得ながら、関係機関と連携し改善を進めてまいります。
---	----	---	---

(2) 今後の参考とさせていただくもの

No.	頁	意見の概要	意見に対する考え方
6	20 53	近年、大規模災害が全国で発生しているが、昔はがけ崩れが多かった場所が区内にもある。防災の面からそういった事実を知っておくことは重要であり、後世に伝えていくべきだ。	今回記載の変更はいたしません、今後の参考とさせていただきます。
7	38	○多様な世代が活動できるまちをつくる 上記に関する趣旨に賛同します。高齢者等が、住み慣れた地域において多様な世代によるコミュニティの中で安心して住み続けることができるよう、バリアフリー化やヒートショック対策の推進は欠かせない施策のため「ヒートショック対策」という文言を、以下の通り加筆することを提案します。 <u>バリアフリーやヒートショック対策がなされた仕様の高齢者向け住宅と子育て支援施設が一体となった住宅など、多様な世代が生活し、活動できる施設を誘導します。</u>	今回記載の変更はいたしません、今後の参考とさせていただきます。
8	68	『バリアフリー化』の解説に以下の通り、「ヒートショック」に関する文言を追記することを提案します。 高齢者、障害者等が生活するうえで、(中略)(横浜市都市整備局) <u>加えて、室内でのヒートショックなどによる入浴中の死亡者数は交通事故の4倍とも言われていることから、温度のバリアフリーも含まれる。</u>	今回記載の変更はいたしません、今後の参考とさせていただきます。

(3) 関係機関と情報共有するもの

No.	頁	意見の概要	意見に対する考え方
9	—	<p>交通アクセスの改善について提案する。既存道路があり、コスト対効果が安く、交通ネットワーク化が比較的できそうな路線を選定し、駅と駅を結んではどうか。</p> <p>①和田町駅～三ツ沢上町駅に LRT を作ってほしい。新市民病院前に駅を新設してみてもは。</p> <p>②保土ヶ谷駅と井土ヶ谷駅、さらには天王町駅を結ぶ交通インフラ</p> <p>新交通システムは LRT が良いが、Uber型や乗り合い型のタクシー、地下鉄等、風雨でも時間に遅れない交通インフラであればよいと考える。</p>	<p>ご意見を関係機関と情報共有させていただきます。</p>
10	—	<p>区内の自然環境を歩いて楽しめるような改善策を提案する。</p> <p>低地はガーデンシティとし、丘、台、谷はパークシティにしてみてもは。</p> <p>保土ヶ谷区は、たちばなの丘公園も整備され、県立保土ヶ谷公園など大きな公園が点在している。これらを繋ぐ散歩道（トレイルロード）を整備しては。</p> <p>並木道、花壇、水辺と東屋、トイレ、農産物直売所、地区センター等、休憩ができる施設を繋いで維持し、新設する。散歩道をネットワーク化し、パークシティ保土ヶ谷を目指してほしい。</p>	<p>ご意見を関係機関と情報共有させていただきます。</p>
11	20 53	<p>交通の要所であるにもかかわらず、岩崎ガードや元町ガードの下は、雨水がたまりやすい場所になっている。</p>	<p>ご意見を関係機関と情報共有させていただきます。</p>
12	32	<p>「公共交通の利便性を維持する」の部分に「バス路線を維持し」とあるが、「バス路線を拡充」とするべきでは。高齢化に伴い、免許返納者が増えることを考えれば、維持するだけでは不十分である。また、在宅医療・介護を推進するのであれ</p>	<p>本市では、交通事業者等と連携しながら持続可能なバス網の形成を目指しています。いただいたご意見は関係機関と情報共有させていただきます。</p>

		ば、ますます、高齢者が地域で、自宅で暮らしていけるインフラを整備する必要があります、公共交通はもっとも重要である。	
13	32	「地域の力で地域の交通手段を実現する」とあり、これは地域交通サポートシステムを指していると思われる。地域交通サポートシステムについては、財政支援がなく実現も維持もたいへん困難であることなどから、改善する必要があると考える。また行政は、地域の交通について、支援を行うにとどまらず、率先して解決を図るべき。	ご意見を関係機関と情報共有させていただきます。

#### (4) 計画にご賛同いただいたもの

No.	頁	意見の概要	意見に対する考え方
14	—	本原案はバランスがよく、保土ケ谷区の特徴である多様性が表れている。 例えば、区内の主要な施設である、天王町駅、横浜ビジネスパーク（YBP）、星川駅、区役所、県立保土ケ谷公園、横浜国立大学等は、にぎわい、新規性を持つビジネス施設、公園、大学、というそれぞれが事なる役割を持ちうまく連続している。保土ケ谷区の将来 20 年後は、今ある魅力や連続性を維持し、広げることであると考えます。	ご賛同いただきありがとうございます。
15	36 53	歴史に関わる区民の自主的な活動への支援について、区プランに記載があるという事は、今後の活動のしやすさにつながるるとともに、活動目標が明確となるためありがたい。	ご賛同いただきありがとうございます。

(5) その他

No.	頁	意見の概要	意見に対する考え方
16	—	保土ヶ谷区プランを策定するにあたり、どれだけの区民がこのプランを理解し、意見を出せたのか疑問を感じる。少なくとも、各地域で行われる「地域のつどい」で、それぞれの地域についての説明が行われるべきではなかったのか。また、意見募集を行っていることも併せて広く周知すべきではなかったのか。	本計画の改定にあたっては、計画の内容についてご理解いただくことを目的として、平成 28～29 年度に地域別ワークショップや改定素案の説明会を開催しました。これらの説明会や改定素案の意見募集でいただいたご意見を、改定原案に反映し、再度意見募集を行いました。 本計画の改定について、今後も広報紙や区ホームページなどで周知するとともに、様々な機会を捉えて区民の皆様にご説明してまいります。
17	63	まちづくりの計画の見直しについて、「柔軟に見直しを行う」とあるが、見直しに際して、区民にきちんと周知されるのか、公正な見直しがされるのか、疑問を感じる。区政に広く区民が参画できるように、広報・意見募集の改善を要望する。	本計画の改定にあたっては、広報よこはまや区ホームページへの掲載、記者発表のほか、概要版の町内会回覧や地元広報紙への掲載などにより、広く区民の皆様からご意見をいただきました。 今後、計画の見直しが必要となった際は、より効果的な広報や意見募集の方法等について、関係局等と検討してまいります。